

大阪芸術大学芸術学部 平成29年4月に日本初となる「アートサイエンス学科」を開設

圧倒的な光に包まれる！超幻想空間での体験型音楽フェスティバル 「Music Festival, teamLab Jungle」に協賛

(2016年12月24日(土)～2017年1月9日(月・祝) 堂島リバーフォーラムにて開催)

大阪芸術大学の在學生 70 人が、イベントスタッフとして参加



大阪芸術大学(学校法人塚本学院/所在地:大阪府南河内郡/学長:塚本 邦彦)では、日本初となる「アートサイエンス学科」開設(2017年4月)に先立ち、ウルトラテクノロジスト集団「チームラボ」が制作する体験型音楽フェスティバル「Music Festival, teamLab Jungle」に協賛。イベントには、大阪芸術大学の在學生 70 人が演出サポートや運営スタッフとして参加します。

現在、VR(バーチャルリアリティ)・AI(人工知能)・通信などのデジタルテクノロジーを取り込んだ新しいアート表現、デザイン製品、斬新なサービスが次々と生まれています。もはや、これらのデジタルテクノロジーは、芸術だけでなく産業活動における「創造基盤」として欠かせないものとなっています。

こうした環境をうけ、「アートサイエンス学科」では、「芸術」「情報」「社会」という3つの学修領域を横断し、次世代ビジネスやそれに携わることができる人材の育成をめざしています。

今回の協賛は、日本初の学科として「新学科のめざすところ」と「新たな学修スタイルづくりに挑戦する姿勢」を具現化したものとなります。なお、「チームラボ」の代表を務める猪子寿之氏は、アートサイエンス学科の客員教授として学生の指導にあたる予定です。

◆「チームラボ」とは？

デジタル社会の様々な分野のスペシャリストからなるウルトラテクノロジスト集団。47万人が訪れた「チームラボ 踊る！アート展と、学ぶ！未来の遊園地」などアート展を国内外で開催。他、「ミラノ万博 2015」の日本館、ロンドン「Saatchi Gallery」、パリ「Maison & Objet」、5時間待ち以上となった「DMM. プラネッツ Art by teamLab」、シリコンバレーでの個展など。またシンガポール、韓国で巨大な常設展開催中。今後、ロンドンや北京、台湾などで開催予定。

<http://www.team-lab.net/jp/>

■アートサイエンスとは？

テクノロジーの革新は、個人をメディアに変えました。現代では、日本生まれのキャラクターが一瞬でグローバルな存在となっていくように、人を感動させる表現がテクノロジーと融合することで拡散し、新たな社会の核になっています。

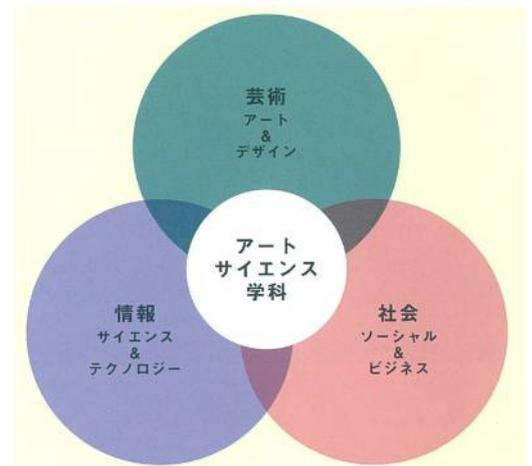
テクノロジーの発達は、表現のカテゴリーをなくしていきます。「アート」「デザイン」「メディア」「エンターテインメント」「広告」などの分野では、目的に応じて境界が取り払われ、クリエイターによる斬新な発想や構想力が先端テクノロジーと融合し、ときに進化させた、かつてない表現が生まれています。

大阪芸大は、より人間的な発想力や構想力、それと結びつくテクノロジーによって生まれる、新しい表現や知識を学ぶカテゴリーを「アートサイエンス」と名づけました。

■大阪芸術大学芸術学部 アートサイエンス学科の特徴

大阪芸術大学のアートサイエンス学科では、「芸術」「情報」「社会」という3つの領域を横断しながら、「つくる・あそぶ・まなぶ」を学修スタイルとして学んでいきます。

世界規模で情報化が進む社会の変容や、企業が求める人材像の変化に対応できる「発想力」や「構想力」、そして「人間性」を養いながら、3つの領域を横断して学ぶことで、21世紀に欠かせない人材育成をめざしていきます。



◆「芸術」領域

多様化・複合化が進むジャンルやメディアに対応できる表現を探求。

◆「情報」領域

テクノロジーを理解・応用して、プロダクトやサービスを生み出すための発想力や構想力、プロデュース力を育成。

◆「社会」領域

既存の物事にとらわれない発想力、問題提起・解決能力、コミュニケーション力など、大きく変化されると言われるこれからの社会環境を生き抜くスキルを磨く。

卒業後はデザイナーやアーティストだけでなく、表現技術を身につけたプログラマーやエンジニア、あるいはテクニカルアーティストなど、既存の職業領域に縛られない人材育成をめざしています。

■大阪芸術大学在学学生 70 名が「teamLab Jungle」のスタッフとして参加

2016年12月24日から2017年1月9日まで大阪市福島区で開催される「Music Festival, teamLab Jungle」には、大阪芸術大学の在学学生70人が、イベント運営スタッフとして参加します。在学中から、一般を対象として実際に行われるイベントの現場を経験することで、「知識」と「経験」のシナジーが生まれ、より立体的な学習効果を得ることができます。

◆募集したスタッフと対象学科など

運営サポートスタッフ

芸術計画学科、デザイン学科（デザインプロデュースコース）

ワークショップサポートスタッフ

初等芸術教育学科、工芸学科

音響サポートスタッフ

音楽学科（音楽・音響デザインコース）、舞台芸術学科（舞台音響効果コース）

演出サポートスタッフ

舞台芸術学科（演技演出コース・ミュージカルコース・ポピュラーダンスコース）

などの学生を中心に、芸術学部全体に募集をかけました。

■スタッフとして参加するにあたって、事前にワークショップを開催

「Music Festival, teamLab Jungle」にスタッフとして参加する学生に向け、2016年8月に事前ワークショップを開催。あらかじめ、チームラボの活動内容やミュージックフェスティバルにおけるスタッフの役割などを学習し、さらに直前にはリハーサルなどを重ねて、本番のイベントに臨みます。

◆2016年8月9日(火) DMM.PLANETS Art by teamLab ～ 六本木ヒルズ森美術館

- ①お台場 DMM.PLANETS Art by teamLab 体験
- ②六本木ヒルズ 森美術館「宇宙と芸術展」鑑賞
- ③チームラボミーティングルームにてワークショップ

参加型アートイベントであることから、「どのように来場者の方に、自発的かつ積極的に参加いただくか」が成功のカギとなります。そのために、「演者がとる動きを、まわりの方に真似させながら輪を広げていく手法」や、仮面をつけた演者が世界観を維持しつつ、音響が鳴る中でも意思疎通するために「言葉を使わずに、状況に対応する方法」、そしてイベントの盛り上げの要となる、「チームラボボールの特性を生かす方法」など、様々な内容を各パートのプロフェッショナルからレクチャーを受けました。



◆2016年8月10日(水) チームラボアイランド@ららぽーと富士見

さまざまなチームラボの作品に触れ、また実際の会場で来場者とスタッフの対応を見ながら、一人の参加者としての立場でも体験しました。

■「Music Festival, teamLab Jungle」開催概要

音楽に合わせて、光と映像によって演出される幻想的な空間の中で、みんなで踊ったり音を奏でたり、さまざまな体験をします。光が参加者の手や体にあたるとセンサーが反応し、光が跳ねたり音楽が鳴ったりするため、同じものが二つとない演出の公演が完成します。参加者みんなで創っていくまったく新しい参加型音楽フェスティバルです。



【主催】「ミュージックフェスティバル チームラボジャングル」大阪製作委員会 【共催】 堂島リバーフォーラム
【協賛】 大阪芸術大学 【後援】 FM802、FM COCOLO

【開催期間】 2016年12月24日(土)～2017年1月9日(月・祝)

【開催場所】 堂島リバーフォーラム

＜アクセス＞

- JR 東西線「新福島」、阪神本線「阪神福島」、京阪中之島線「中之島」各駅から徒歩約 5 分
- JR 環状線「福島」、市営地下鉄四つ橋線「肥後橋」各駅から徒歩約 8 分
- JR 各線「大阪駅」 徒歩約 15 分



【開催内容】

■昼フェス

子供から大人まで、「ファミリー」でも楽しめる新しい体験型の音楽フェスティバル。何歳でも入場可。

＜入場料＞ 子ども(3～14歳)／当日 800円 前売り 600円 大人(15歳以上) 当日 1,600円 前売り 1,200円

※2歳以下は無料

■夜フェス

音楽フェス好きはもちろん、カップルからアートファンまで楽しめる新しい体験型の音楽フェスティバル。

＜入場料＞ 一般／当日 4,000円 前売り 3,500円

※小学生以下は入場不可 ※16歳未満の方は、保護者同伴 ※21時20分からの公演は、18歳未満の方は入場不可

【開催スケジュール】

Schedule	12/24[土]	25[日]	26[月]	27[火]	28[水]	29[木]	30[金]	31[土]	1/1[日]	2[月]	3[火]	4[水]	5[木]	6[金]	7[土]	8[日]	9[月]
昼 フェス 50分間	10:00		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12:00		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14:00		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
夜 フェス 70分間	16:00																
	16:30			学	学	学											
	19:00	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	21:20		○														

※昼フェスと同時開催の「ワークショップコレクション」の開催時間は9:30です。 ※ (学割公演)は、中・高校生のみ、会場にて1000円をキャッシュバックいたします。(学生証提示) ※夜フェスの開催時間は開演の45分前です。

【ホームページ】

<http://musicfes.team-lab.net/osk2016/>

■大阪芸術大学芸術学部 アートサイエンス学科で指導にあたる教授陣

アートサイエンス学科開設にあたり、その教授陣には、高い専門性を持った世界的クリエイターを迎えました。

学科長には、新たに武村泰宏氏が就任。そのもとに、デジタル社会のスペシャリストで構成されるウルトラテクノロジスト集団「チームラボ」を率いる猪子寿之氏、アメリカのロックバンド「OK Go」のMVで話題を集めたクリエイティブディレクター・原野守弘氏、世界最高峰とされる研究施設「MIT(マサチューセッツ工科大学)メディアラボ」で副所長を務める石井裕氏など、いずれも最先端の表現をリードしているクリエイター達が学生の指導にあたります。

◆学科長



情報科教育のスペシャリスト

武村 泰宏(たけむら やすひろ)教授[就任予定]

1953年奈良県生まれ。工学博士。専門領域はソフトウェア工学。芸術領域におけるプログラミングを研究。主な著書に『マルチメディア・コンピューティング』(晃洋書房/共著)など。エンターテインメントからプログラミング教育まで、研究分野も幅広い。「日本産業技術教育学会情報分科会」代表、IEEE member of the IEEE Education Society (EdSoc)を歴任。

◆教授陣(一部)



テクノロジーとアイデアを武器に、 アート表現の可能性を広げる

猪子 寿之(いのこ としゆき)客員教授(チームラボ)

1977年徳島県生まれ。プログラマー、エンジニア、CGアニメーター、絵師、数学者、建築家、Web デザイナー、グラフィックデザイナー、編集者など、デジタル社会のスペシャリストから構成されているウルトラテクノロジスト集団「チームラボ」代表。アート・サイエンス・テクノロジー・クリエイティビティの境界を曖昧にしながら活動している。<http://www.team-lab.net/jp/>



世界の広告表現の「今」を知る クリエイティブディレクター

原野 守弘(はらの もりひろ)教授

経営戦略の立案からプロダクトデザイン、メディア企画、広告のクリエイティブディレクションまで、広範囲な分野で一流の実績を持つ。代表作に『森の木琴』『OK Go:I Won't Let You Down』『Pla Dots』。D&AD Yellow Pencil、カンヌ広告祭 金賞、グッドデザイン賞 金賞など国内外での受賞多数。





**プロジェクションマッピングを定着させた
トップランナー**

村松 亮太郎(むらまつ りょうたろう) 客員教授

1971 年大阪府生まれ。テレビ、広告、MV、空間演出など、ジャンルを問わず活動。近作に、東京駅 3D プロジェクションマッピング『TOKYO HIKARI VISION』演出、東京国立博物館特別展「京都一洛外洛中図と障壁画の美」『KARAKURI』演出、NHK 大河ドラマ『軍師官兵衛』タイトルバックなど。



**「MIT メディアラボ」という
世界最高峰の舞台でも挑戦する**

石井 裕(いしい ひろし) 客員教授

1956 年東京都生まれ。工学博士。「MIT メディアラボ」副所長。「GMD 研究所」「NTT ヒューマンインターフェース研究所」などを経て、'95 年、「MIT メディアラボ」教授に就任。「タンジブル・ビッツ」の研究で世界的評価を得る。2010 年からは、デジタル情報により動的に変形する物理マテリアル「ラディカル・アトムズ」の研究を創始。



**ロボット工学を牽引してきた
日本の第一人者**

萩田 紀博(はぎた のりひろ) 教授[就任予定]

1954 年秋田県生まれ。ロボティクス研究者。慶應義塾大学大学院工学研究科修了。「国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 知能ロボティクス研究所」所長として、人々の暮らしをロボット技術でサポートする研究開発を行う。同研究所が開発したロボットには、遠隔操作型アンドロイド『ジェミノイド』、抱き枕通信メディア『ハクビー』などがある。



**アニメとテクノロジーで、
新たなエンターテインメントを創出**

浅尾 芳宣(あさお よしのり) 准教授

1968 年福島県生まれ。プロデューサー。2007 年、「月眠」を設立し、独自ソフトの開発を開始。'10 年、CG 制作会社「吉祥寺トロン」設立。'13 年、瀬戸内芸術祭にて『プロジェクションマッピングの世界』を発表。'14 年、テレビアニメシリーズ『魔法少女大戦』プロデュース。アニメを基盤に、映画、PV、CM などの映像制作、イベントの企画などを手がける。



本資料に関するお問い合わせ先

学校法人 塚本学院 大阪芸術大学グループ 法人本部

企画広報部 担当/熊沢

Tel : 0721-70-7775 (直) (月~金、10:00~17:00)

FAX : 0721-70-7776

Mail : kouhou@osaka-geidai.ac.jp